

13. ゲルマニウム半導体検出器を用いた in-situ 測定法 専門

[オンライン聴講あり]

1. 対象者

ガンマ線スペクトロメトリーまたは放射線測定を担当者（経験1年以上）

2. 概要

東京電力福島第一原子力発電所の事故後、放射性物質の分布（濃度）や周辺の平均的な放射線量を現地で精度よく測定する機器として広く使用されている可搬型ゲルマニウム半導体検出器について、固定型のゲルマニウム半導体検出器とは異なる機器の取扱い、測定データの解析方法を習得します。

3. 内容

下表のとおり

分類	科目名	時間数
講義	可搬型 Ge 半導体検出器を用いた in-situ 測定法 *1	2.5
	in-situ 測定法活用例 *1	1.0
	福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の分布状況調査における in-situ 測定法の活用	1.5
実習	機器調整	4.0
	スクレーパープレートによる土壌採取	4.5
	採取試料の調製	2.0
	in-situ 測定（データ解析を含む）	6.5

*1：聴講可能です。

お問い合わせ：教育研修グループ E-mail:kenshu@jcac.or.jp

Tel：043-424-8663（直通）